

令和8年度事業計画書（案）

（令和8年3月24日 作成）

1. まちなかの歴史

① 伊勢崎市中心市街地の歴史

本市は明治時代から、全国に知られる繊維産業の町として発達し、戦後は繊維産業の衰退から工業誘致を推進し、県内有数の活力ある産業都市に成長しました。こうした中で、市の中心市街地は、一時、戦災により街なみの多くを焼失したものの、鉄道の玄関口である伊勢崎駅と道路交通の要衝という地の利を得て、周辺地域からも人々を吸引する古くからの商業集積地として発達してきました。

② 境町中心市街地の歴史

境町の中心市街地は、江戸時代から例幣使街道や利根川などの陸運、水運の要地となって栄え、明治時代以降は、蚕種製造業、織物業といった当時の先端産業が中心となって発達してきました。その後、工業団地の造成などにより都市化が進展し、中心市街地周辺部は人口増加が続きました。

2. まちなかの衰退

本市のまちなか（伊勢崎市中心市街地活性化基本計画及び境町中心市街地活性化基本計画に定める中心市街地を指し、ここでは主に伊勢崎駅周辺地域を指します、以下同様）は、駅と道路交通の要衝という地の利を得て、周辺地域からも人々を吸引する、古くからの商業集積地として発展してきました。

しかし、近年ではバイパス道路の整備等に伴い幹線道路沿いへ大規模小売店や飲食店などの商業集積が移行し、これに地元商工業者の高齢化に伴う廃業や人口減少も相まって、まちなかの空洞化が進んでいます。

① 地域産業の衰退

まちなかの事業所数はここ10年間で134件（18.2%）減少しています。市全体では511件（5.8%）の減少にとどまっており、大幅な減少となっています（平成24年度・令和3年度経済センサス活動調査）。

② 人口の減少

外国人人口の増加により市全体の人口は横ばいの傾向にありますが、まちなかの人口はここ10年間で800人以上減少しています。

③ 高齢化の進展

まちなかの高齢化率は35.4%で、市全体の27.4%に比べ8.0%も高くなっています。

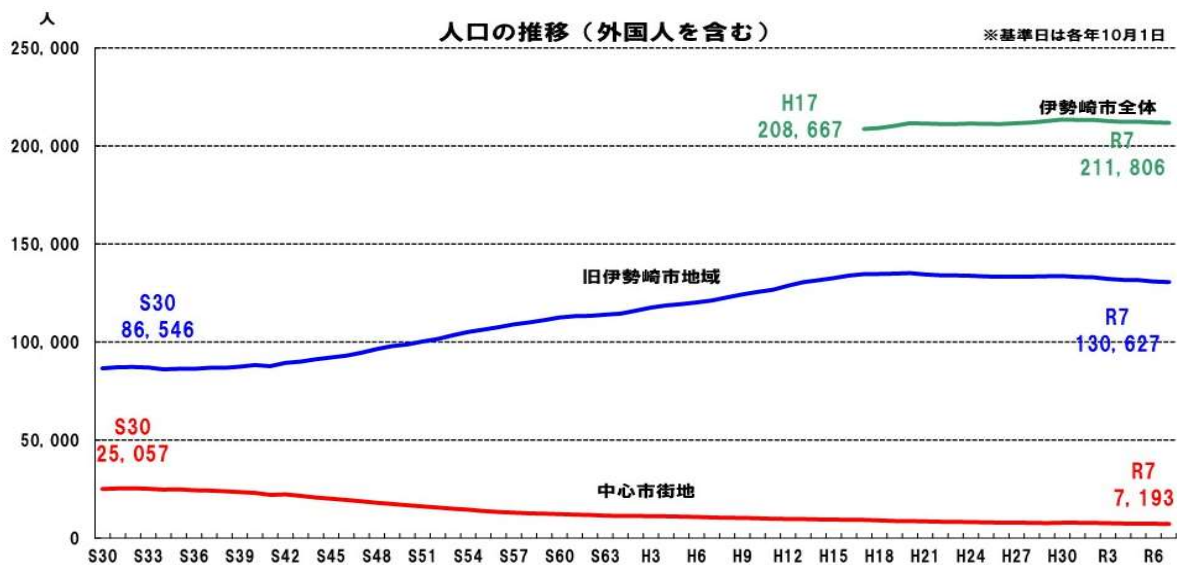
3. まちなか活性化支援会議のこれまで

まちなかにおける経済活力向上による地域課題の解決を支援するため、令和3年8月から伊勢崎商工会議所、アイオー信用金庫、まきばプロジェクト、伊勢崎市の4者でまちなか活性化支援会議を開催し、より緊密かつ継続的にこの取り組みを進めるため、同年12月には4者による連携協定を締結しました。

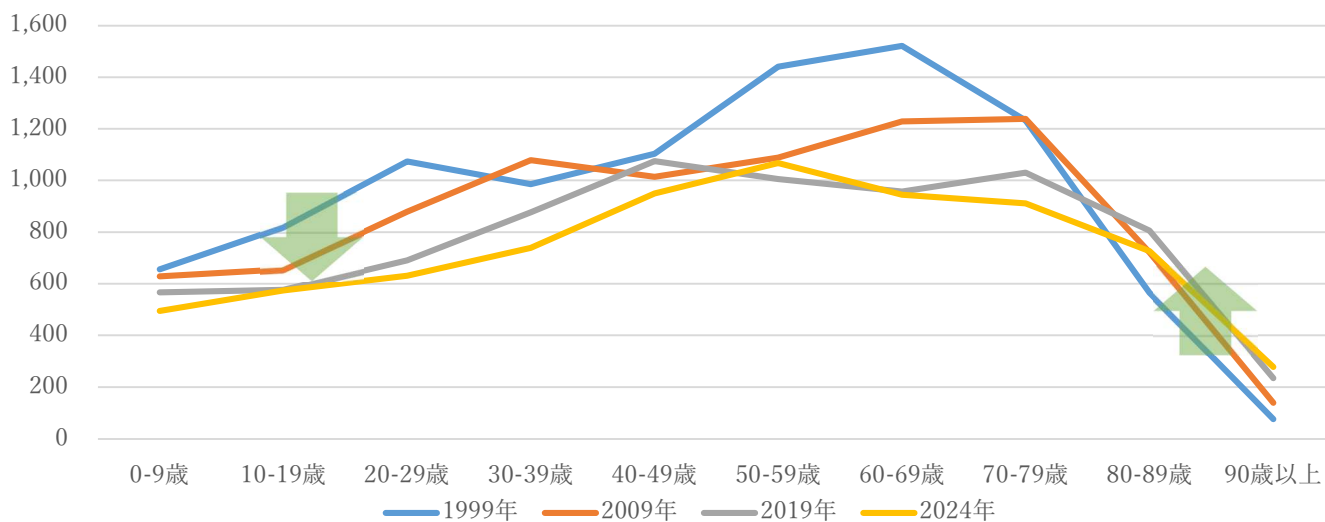
以降、さらに実行力ある組織とするため、群馬伊勢崎商工会、群馬県宅地建物取引業協会伊勢崎支部、全日本不動産協会群馬県支部伊勢崎担当、群馬県（地域支援員）をメンバーに迎えました。

令和5年度からは、地域との連携強化を図るため、北地区及び南地区区長会から委員として迎えています。

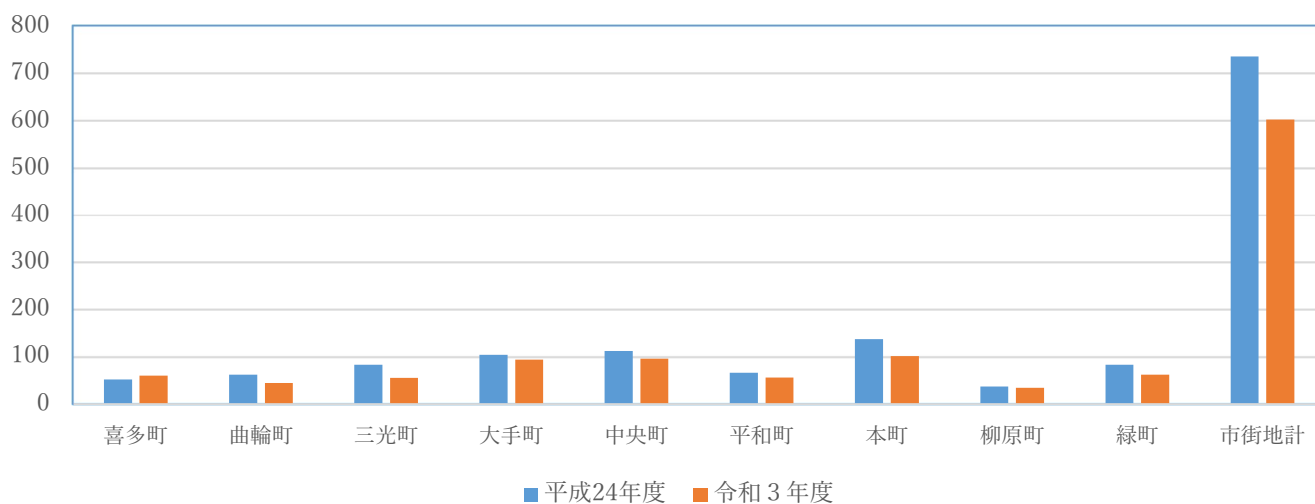
中心市街地※の人口推移 ※曲輪町、大手町、平和町、本町、中央町、緑町、三光町、喜多町、柳原町にて集計



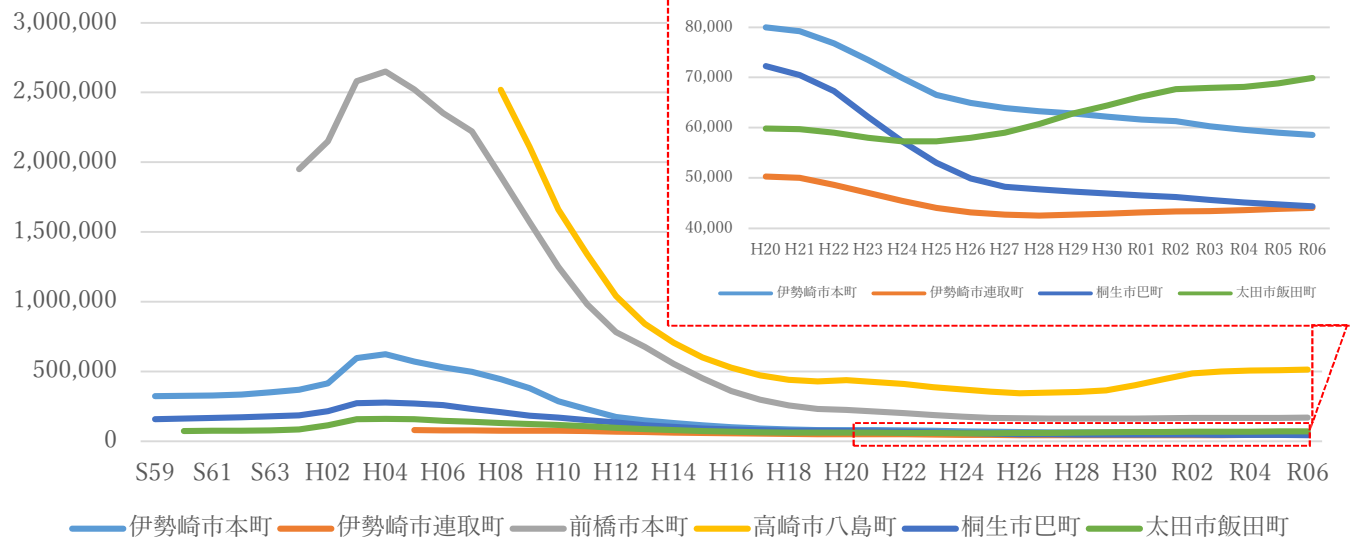
中心市街地の年代別人口推移



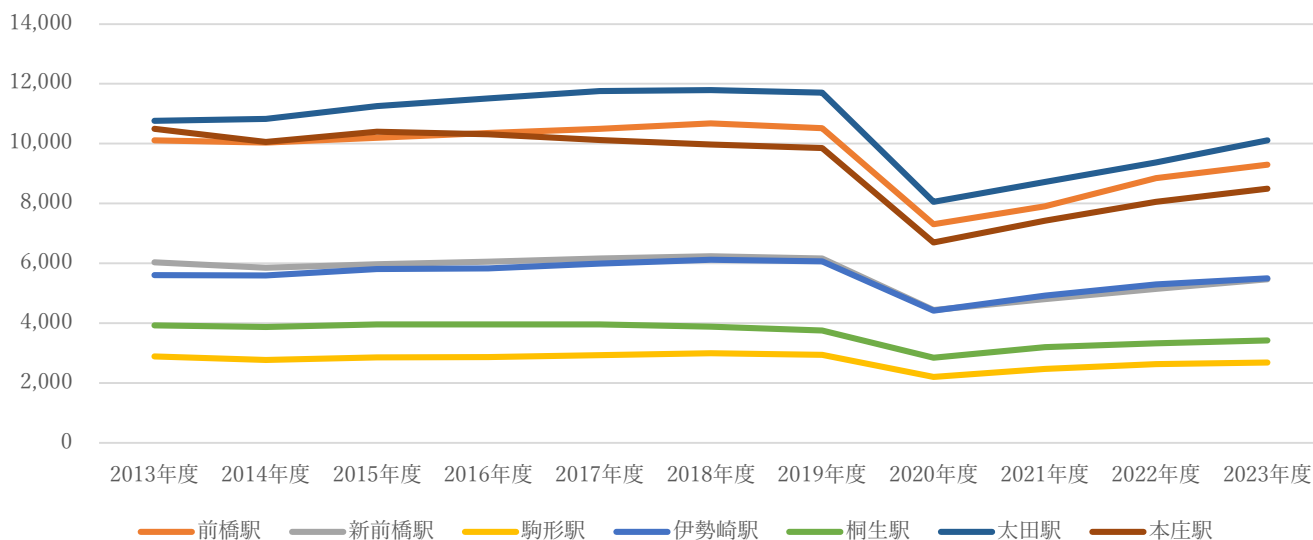
中心市街地の事業所数の推移



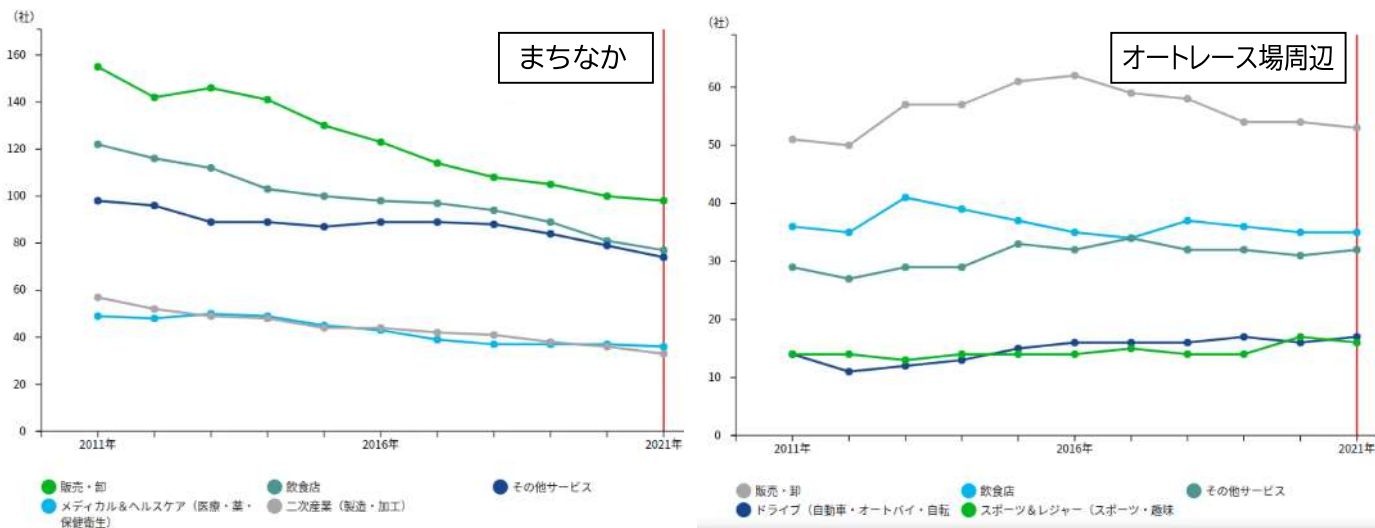
県内主要地の地価公示価格の推移(1㎡あたり)



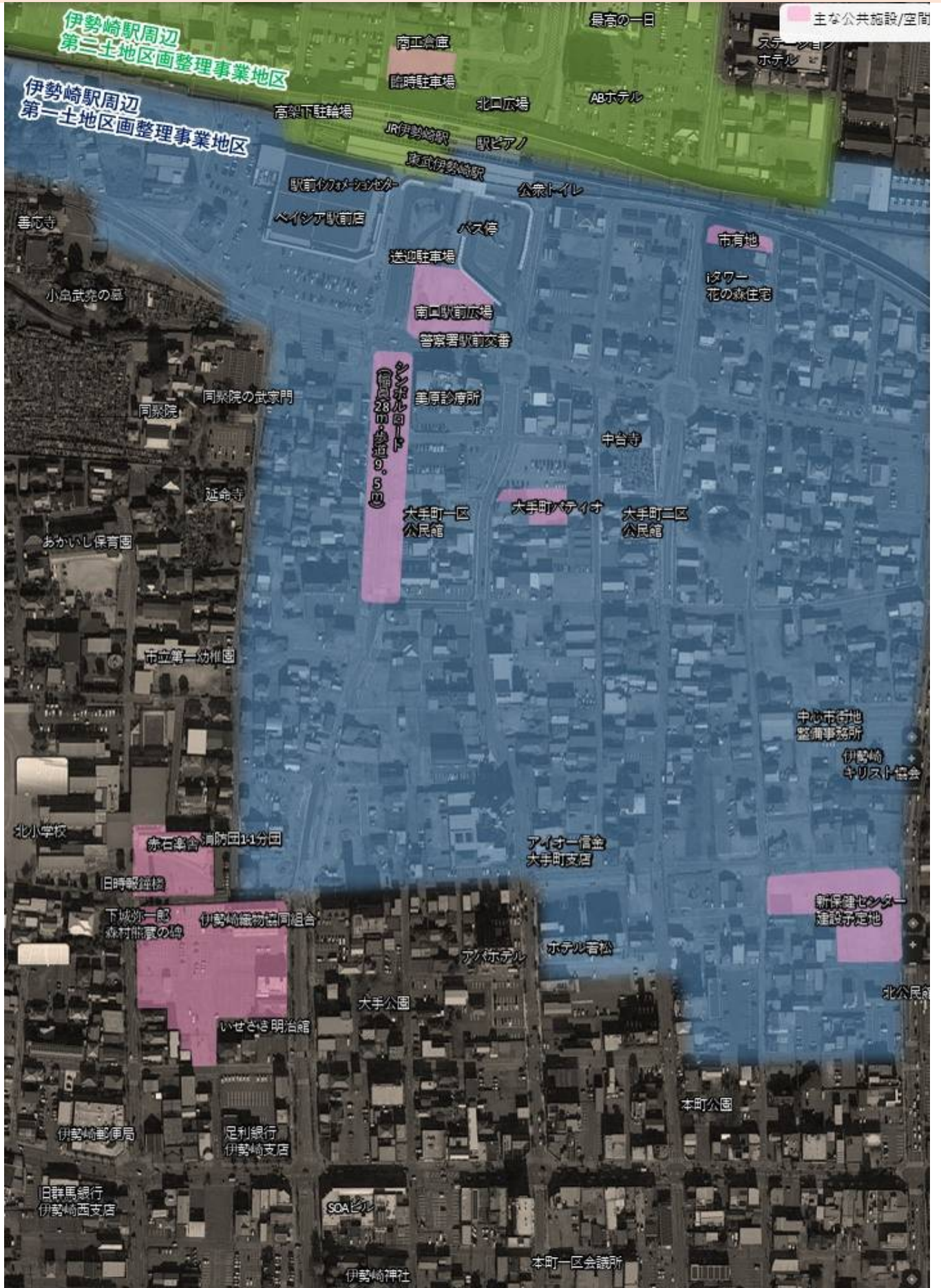
各駅別乗車人員(1日あたり)



産業別事業所立地動向(RESAS 地域経済分析システムから)



4. まちなかの現状①（主な社会資源等）



駅前インフォメーションセンター

伊勢崎駅周辺の賑わい創出の拠点として、観光資源などの情報の発信をはじめ、まちなか活性化のイベントにも活用できる施設。開館時間は9時～21時。



駅構内、駅南口駅前広場

駅中央には南口と北口を結ぶ自由通路が設置されている。

南口駅前広場は、憩いの場として利用されるほか、いせさき楽市をはじめ各種イベントが開催される。



大手町パティオ

スペイン語で「中庭」を意味するパティオ。買い物や散歩等のついでに気軽に立ち寄れ、様々な楽しみ方ができる“交流広場”となるよう整備された公園。



シンボルロード

伊勢崎駅南口と県道2号前橋館林線をつなぐ道路。両側に歩道を備えた最大幅員28メートルの道路を整備中。



赤石楽舎/旧時報鐘楼

赤石楽舎は地域交流センターとして北小学校内に設置された施設。旧時報鐘楼は横浜の薬種商小林桂助の寄付で大正5年に建てられた、県内最古の鉄筋コンクリート構造物。



伊勢崎織物協同組合

明治13年に伊勢崎太織会社として設立された、伊勢崎市を中心とした地域の機屋及び関連業種による組合で、140年以上継続している。館内では伊勢崎銘仙の展示販売等を行う。



いせさき明治館

伊勢崎藩医を務めた今村家が明治45年に建造した県内最古の2階建て洋風医院建築物で、平成14年に市に寄贈され現在地へと曳き家移転された。現在は伊勢崎銘仙展示を行う。



伊勢崎神社

主祭神として保食神を祀るほか、大日女命ほか27柱を祀る。創建は鎌倉時代の三浦義澄によるものとして伝えられ、大正15年に社名が飯福神社から現在の伊勢崎神社へ改称した。

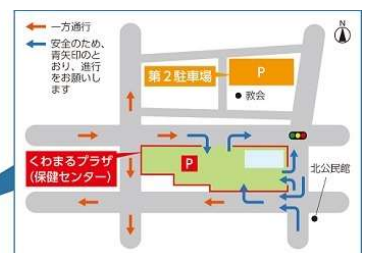


中心市街地にぎわい創出拠点(地元への説明資料から)伊勢崎駅周辺は古くから発達してきた本市の中心市街地ですが、人口減少や商業衰退などの問題を抱えていることから、中心市街地の再生や活性化を図り、便利で快適な街なかを創造し、居住の促進と定住人口の増加によるにぎわい創出に取り組む必要があります。

こうした状況を踏まえ、市では、伊勢崎駅前広場およびくわまるプラザ(保健センター)に加え、中心市街地におけるにぎわい創出の第3の核として、にぎわい創出拠点整備を目指しています。

くわまるプラザ(保健センター)(市HPから)

くわまるプラザは、保健センター機能と子育て支援機能を一体的に運用するほか、健康に関する情報発信をする施設です。また、誰でも気軽に立ち寄ることができる施設として、中心市街地の活性化に寄与します。



5. 令和7年度の主な取組報告

いせさき 楽市 全14回	4/19(土)09:00-13:00 南口広場 約600人 駅ピアノ	5/17(土) 09:00-13:00 南口広場 雨天中止 マス掴み取り、ボッチャ大会、 eスポーツ	6/21(土) 09:00-13:00 南口広場 約1,000人 軽トラ朝市、カラオケ大会、駅 ピアノ、伊商高	
	7/19(土)17:30-20:30 南口広場 約1,500人 ダンス&パフォーマンス、銘 仙ランタン作り・まちあるき	7/26(土) 17:30-20:30 南口広場 約1,500人 ダンス&パフォーマンス、花 苗配布	8/2(土) 17:30-20:30 南口広場 約500人 ダンス&パフォーマンス	
	8/9(土) 17:30-20:30 南口広場 約700人 ダンス&パフォーマンス、竹 灯籠づくり体験	8/16(土) 17:30-20:30 南口広場 約800人 ダンス&パフォーマンス	8/23(土) 17:30-20:30 南口広場 約500人 eスポーツ酒場	
	8/30(土) 17:30-20:30 南口広場 約700人 ダンス&パフォーマンス	9/20(土) 17:30-20:30 南口広場 約700人 夕焼けヨガ、ナイトシネマ、竹 灯籠ワークショップ、駅ピアノ	10/18(土) 17:30-20:30 南口広場 約1,000人 カラオケ、ボッチャ、コスプレ、 じゃんけん大会	
	11/15(土) 10:00-15:00 南口広場 約1,000人 ラジオ体操、カラオケ、花苗配 布、駅ピアノ、軽トラ朝市	12/20(土) 16:30-19:30 南口広場 約1,200人 カラオケ、お菓子まき、スタンプ ラリー、eスポーツ、駅ピアノ	3/21(土) 10:00-16:00 南口広場、パティオ 約1,200人 カラオケ、コスプレ、痛車、花苗 配布、軽トラ朝市	
	11/15(土) 10:00-15:00 南口広場 約1,000人 ラジオ体操、カラオケ、花苗配 布、駅ピアノ、軽トラ朝市	12/20(土) 16:30-19:30 南口広場 約1,200人 カラオケ、お菓子まき、スタンプ ラリー、eスポーツ、駅ピアノ	3/21(土) 10:00-16:00 南口広場、パティオ 約1,200人 カラオケ、コスプレ、痛車、花苗 配布、軽トラ朝市	
まちなか 未来学校 全12回	第1回 4月19日(土)10:00~正午 商工労働課 駅前IC 参加者14人 中心商店街にぎわい再生事業費補助金募集要 項説明会	第2回 5月17日(土)13:00~15:00 商工労働課 駅前IC 参加者25人 中心商店街にぎわい再生事業費補助金公開プ レゼンテーション		
	第3回 6月21日(土)13:00~15:00 飯塚花笑氏(映画監督・脚本家) 駅前IC 参加者27人 ぐんまでの映画づくりと俳優教育	第4回 7月24日(木)18:00~20:00 片山翔平氏(craft-life代表) 駅前IC 参加者21人 地域で彩りを混ぜ合わせながら暮らす		
	第5回 8月26日(土)18:00~20:00 臂徹氏(日本都市計画課協会 理事) 駅前IC 参加者51人 伊勢崎のマチとヒトに期待すること(+ついで に自らの野望)	第6回 9月9日(火)18:00~20:00 島田渉氏(島田工業株式会社代表取締役社長) 駅前IC 参加者22人 楽しくなくっちゃ仕事じゃない!「目標を持っ た行動こそが未来を創る」		

第7回 10月21日(土)18:00~20:00

富所哲平氏 (環境カウンセラー)
 駅前IC 参加者25人
 日本一熱かった伊勢崎~10歳でもわかる!
 気候変動を学んで、コミュニケーション力アップ講座!??

第8回 11月26日(水)18:00~20:30

山本龍氏 (元前橋市長)
 山下田伸氏 (宇都宮大学客員教授)
 臂徹氏 (日本都市計画家協会 理事)
 駅前IC 参加者35人
 第1部・講演 山本龍氏
 「市民におまかせ?良いかげん市政」
 第2部・講演 山下田伸氏
 「市民が面白いがるまちづくり」
 第3部 3者によるクロストーク

第9回 12月9日(火)18:00~20:00

清水聖義氏 (前太田市長)
 駅前IC 参加者43人
 政治家を志す すべての若者たちへ



第10回 12月10日(水)18:30~20:00

小林正美氏 (明治大学名誉教授)
 北原啓司氏 (弘前大学特任教授)
 臂徹氏 (都市計画協会 理事)
 駅前IC 参加者41人
 シャレットワークショップ
 ~伊勢崎のまちづくりデザインを考える~
【事例発表者】
 相川氏 (相川考古館館長)
 石原氏 (商工労働課課長)
 下田氏 (下田設計)



第11回 2月13日(金) 18:00~20:00

安藤淳子氏 (JUNA株式会社 代表取締役)
 駅前IC 参加者15人
 「あり方をデザインする ~見過ごされてきた
 価値を引き上げる思考~」

第12回 3月24日(火) 18:00~20:00

小嶋悠樹氏 (社会福祉事務所佑暉代表)
 駅前IC 参加者12人
 「まちなかの身寄りのない人をどう支えるか
 ~人を支えることは、街を支えること~」

いせきま まちなか 未来学校 7/24 木 18:00~20:00
 会場 伊勢崎駅前インフォメーションセンター
 講師 片山翔平氏
 「地域で彩りを混ぜ合わせながら暮らす」

いせきま まちなか 未来学校 9/9 火曜日 18:00~20:00
 会場 伊勢崎駅前インフォメーションセンター
 講師 島田 渉氏
 「楽しくなくちゃ仕事じゃない! 「目標を持った行動こそが未来を創る。」

いせきま まちなか 未来学校 11/26 水 18:00~20:30
 会場 伊勢崎駅前インフォメーションセンター
 講師 山本龍氏、山下田伸氏、臂徹氏
 「市民におまかせ?良いかげん市政」

中心商店街
にぎわい
再生事業費
補助金
全13団体

伊勢崎
地区

1. ISESABI ワイアンサマーフェスティバル実行委員会

異文化に触れあう機会を通じ、異文化への理解を促進し、多文化共生のまちづくりに寄与する。市域外からも魅力を感じる「暑い街・伊勢崎」としてのブランド力を高める。

2. 栄養ワンダーin いせさき実行委員会

(公社)日本栄養士会主催によるイベント「栄養ワンダー」をいせさきにおいても開催し、食育イベントを通しまちなかのにぎわいを創出していく。

3. 路地裏ちょうちん会

緑町エリアの路地裏のイメージアップを図るため、気軽に足を運んでもらうきっかけ作りとして路地裏ビアガーデンを実施する。

4. OCHAVA マルシェ実行委員会

茂木園本店裏を利用しマルシェを開催。テーマは「まちの食卓」。地元伊勢崎産の新鮮野菜やパン、手作り品等の販売、ワークショップ、音楽演奏等を行う。

5. いせさき音楽の一日プロジェクト

日頃は無機質な駅周辺を音楽（主に生演奏）の持つ「つながる力」と「和み・安らぐ力」により集う人が笑顔になる場所へ変える事を目的に、ライブ演奏等のイベントを行う。

6. 伊勢崎神社えんにち実行委員会

地域コミュニティ結束を強化を目的に、神社を訪れる機会を提供し文化や伝統を紹介する他、子供に楽しみつつ学ぶ機会の提供等、交流拠点として神社の価値を発信する。

7. 伊勢崎銘仙文化保存活用推進プロジェクト

いせさき楽市等の事業と連携し、「いせさき銘仙」の展示や小物販売等の事業を通じて、銘仙の魅力を伝え、新たな価値を創造することによるまちおこしにつなげる。

8. POWER いせさき実行委員会

「夏のまちなかイベント」を企画実施することで、子供から大人まで元気になってもらい、市民の一体感の醸成と活力ある伊勢崎市をアピールする。

9. 伊勢崎商工会議所女性会

伊勢崎駅北側のにぎわいを再生することとともに、現代社会のストレスや疲労に対応し、参加者に心身のリフレッシュの機会を提供する「イセリト」を開催する。

10. ISESABI 和菓子ストリート実行委員会

伊勢崎市の文化や伝統を見直し、市民の愛着を醸成するため、「和菓子屋が多いまちなか」という本町通りの特色と「伊勢崎銘仙」を着て楽しむイベントを開催する。

境
地区

11. Doll's tea party 製作委員会

東京で開催されてる人形のイベントを伊勢崎で開催することで、他県からの来場者を呼び込む。境中心市街地の地域商店街の利用を促進し、地域の魅力を発信する。

12. 西の市実行委員会

空洞化が進行する境中心市街地で地域商店街を中心に西の市を開催、地域の顧客を呼び戻し、商業の活性化を図るとともに地域社会の活性化及びイメージアップに貢献する。

13. さかい・赤レンガまつり実行委員会

境赤レンガ倉庫を中心にイベントを開催し中心商店街への集客を図り、市民とのコミュニケーションと中心市街地の活性化を図ると共に、境地区全体の文化振興に寄与する。

官民連携
事業

伊勢崎駅前インフォメーションセンター窓口等業務民間委託（令和7年4月1日～）

施設 伊勢崎駅前インフォメーションセンター

運営事業者 合同会社 ISESAKI LOVERS

期間 令和7年4月1日～

来場者数 （4月1日～2月28日時点）

令和6年度 前年比 154% 令和7年度
18,452人 → 28,582人



- 主な取組
- ・多目的スペースの開放
 - ・ショーウィンドウの活用
 - ・チャージスポットの設置
 - ・インスタグラムアカウントの開設
 - ・まちなかマップの作成
 - ・駅周辺の美化活動
 - ・学生利用者へのお菓子、パン等の配布
 - ・自由図書コーナーの新設
 - ・イベント開催に対する支援



アンケート 【実施期間】 令和7年12月1日（月）～令和7年12月25日（木）

【実施方法】 インフォメーションセンター窓口にて利用者に配布し、施設内設置回収ボックスに投函してもらう。

【目的】 現在のサービス利用に関するご意見を伺い、より良いサービスを提供するために実施する。

【回答数】 176人（項目によっては未回答あり）

【結果概要】 下記のとおり。

- ・回答者数 176 人のうち、73%が「学生」であり、学生の利用者が大多数を占めることがわかる。また、「学生」と回答した人のうち、87%が主な利用目的を「学習」と回答しており、現在の利用者の多くは学生が学習目的で利用していることが伺える。
- ・全体回答者数のうち、88%が令和7年4月1日以前の利用頻度は「利用なし」と回答しており、多目的スペースの利用を開放したことにより、今年度から利用を開始した人が多いと考えられる。
- ・施設利用に関する意見として、平均点（5点満点）は以下のとおりであり、満足度は大変高いことが伺える。

「イベントや観光・市政情報の発信」	3.97 点
「スタッフの対応や案内のわかりやすさ」	4.58 点
「施設の雰囲気や清潔さ」	4.72 点
- ・「今後、本施設を利用したいと思いますか。」という問いに対して、「利用したい」と回答した人が 100%であり、現状の活用方法に満足いただけていることが伺える。
- ・令和7年4月以前に利用者したことがある人のうち、77%が「とても良くなった・良くなった」と回答しており、民営化したことにより施設のサービス内容が向上したことが伺える。

6. まちなか未来学校におけるアンケートの結果

	未来 学校 1	未来 学校 2	未来 学校 3	未来 学校 4	未来 学校 5	未来 学校 6	未来 学校 7	未来 学校 8	未来 学校 9	未来 学校 10	未来 学校 11	未来 学校 12	合 計 数	割 合 %
知ったきっかけ														(%)
・ 知人の紹介	—	—	6	2	4	2	6	5	6	12	4	2	49	34
・ 主催者からの案内	—	—	2	2	6	0	2	5	2	3	3	0	25	17
・ チラシ、ポスター	—	—	1	1	2	2	7	4	2	3	1	1	24	16
・ WEB	—	—	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	1
・ SNS	—	—	2	4	1	4	9	6	5	2	6	0	39	27
・ 新聞	—	—	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	3
参加動機(複数選択)														(%)
・ 興味のあるテーマ	—	—	13	8	11	4	5	11	9	15	8	3	87	27
・ 講師に関心	—	—	10	7	9	6	17	16	11	7	9	0	92	29
・ スキルアップ	—	—	5	1	3	0	2	4	2	1	1	1	20	6
・ 活動に役立つ	—	—	3	4	4	6	5	6	2	7	4	2	43	13
・ 将来のヒント	—	—	6	7	4	4	7	4	2	3	6	0	43	13
・ 無料、手軽	—	—	9	4	1	3	4	0	2	1	5	0	29	9
・ 他者との交流	—	—	1	0	3	0	2	1	1	0	0	0	8	2
・ その他	—	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
満足度														(%)
・ 1 とても満足	—	—	16	9	12	7	21	15	9	13	12	2	116	64
・ 2 ↓	—	—	0	0	2	2	6	8	6	10	4	1	39	22
・ 3 ↓	—	—	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	6	3
・ 4 不満足	—	—	0	0	0	0	0	8	8	4	0	0	20	11
開催希望時間帯														(%)
・ 平日昼間	—	—	5	1	3	1	1	2	2	5	2	0	22	15
・ 平日夜間	—	—	1	6	9	8	17	18	11	14	9	1	94	66
・ 土日祝日	—	—	10	3	2	0	5	1	4	0	1	1	27	19
・ その他	—	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
年代														(%)
・ 20代以下	—	—	2	0	0	1	4	0	2	2	0	0	11	8
・ 30代	—	—	2	3	1	2	0	3	1	1	3	1	17	12
・ 40代	—	—	5	1	2	1	8	5	4	5	4	1	36	26
・ 50代	—	—	3	4	3	3	8	5	7	7	6	1	47	33
・ 60代以上	—	—	3	0	7	1	4	7	1	5	1	0	29	21

7. 令和7年度における課題と取組

設定した課題	解決のための取組	取組の詳細
(1)まちなかの未来像が明らかでない	①いせさきまちなか宣言 ②都市再生推進法人制度等、まちづくり制度の調査研究	①市内外の市民団体や学生等への講義の際には、まちなか宣言のパンフレットを配布し説明するなど、宣伝の周知を図りました。 ②運営が民営化されたインフォメーションセンターの利用に関するアンケート実施や、運営事業者へまちなか賑わい創出に関する調査研究の報告書の提出を求めるなど、調査研究を進めました。
(2)賑わいの担い手を更に生み出すことが必要	③まちなか未来学校 ④いせさき楽市 ⑤まちなかにぎわい創出事業 ⑥中心商店街にぎわい再生事業費補助金【市】 ⑦まちなかイノベーター（地域おこし協力隊）	③民間のノウハウを活用するため、企画・運営を民間事業者に委託し、原則毎月1回未来学校を開講しました。 ④原則毎月第三土曜日に開催し、デジスポ ISES AKI 体験会やいせさき軽トラ朝市、共愛学園前橋国際大学学生によるランタン作りなど、各種団体と連携しながら事業を実施しました。 ⑤カラオケグラウンドスラム大会、コスプレ、eスポーツ酒場など、多くの方に新しいコンテンツをまちなかで楽しむ機会を提供しました。 ⑥初めて公開プレゼンテーション審査を実施し、補助事業のブラッシュアップ及びにぎわい創出に向けた機運の醸成に努め、結果的に13団体を採択しました。 ⑦ユーススペースに多くの学生が集まるようになり、まちなかの若者の居場所として定着してきました。また、アニメソング盆踊りでは、市外からも多くの方が訪れ、賑わいました。
(3)まちなかでの創業に高いハードルがある	⑧特定創業支援事業【市】 ⑨創業促進サポート補助金（まちなか加算）【市】 ⑩まちなか不動産活用の調査研究 (再掲)いせさき楽市・まちなか未来学校	⑧/⑨補助金を受給した方のうち2名がまちなかで創業となりました。 ⑩空き店舗活用に関する有志団体と市が連携し、空き店舗の所有者にヒアリングを実施するなど、空き店舗活用に向けた取組を開始いたしました。
(4)まちなかの公共空間が十分に活用されていない	⑪駅前インフォメーションセンター管理運営事業 ⑫TINY SHOP ⑬デジタルサイネージの導入 (再掲)いせさき楽市 (再掲)駅前インフォメーションセンター管理運営事業【市】	⑪伊勢崎の玄関口にふさわしい風景を目指し、インフォメーションセンターのショーウィンドウをフォトスポット的に活用しました。まちなか未来学校全12回を当施設で実施するなど、まちづくりの拠点として活用いたしました。 ⑫令和8年度の実施に向け、まちなかの事業者と協力し、計画をまとめました。 ⑬伊勢崎駅構内自由通路に新たにデジタルサイネージを1台設置しました。

<p>(5)地域住民や地元商店街との連携が十分ではない</p>	<p>⑮小規模事業者サポート補助金【市】</p> <p>⑯地域おこし協力隊活動成果発表会の開催</p> <p>(再掲)中心商店街にぎわい再生事業費補助金</p> <p>(関連)商工会議所/商店会連合会事業【連携協力】</p> <p>(再掲)まちなかイノベーター(地域おこし協力隊)</p>	<p>⑮小規模補助金を活用し、まちなかの既存の事業者が経営改善に取り組みました。</p> <p>⑯地域おこし協力隊の地域定着や活動の成果報告を目的として開催しました。</p>
<p>重点取組(1)</p> <p>まちなかの公共空間の可能性を広げる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度の公共空間の管理運営体制の見直しに関する検討に基づき、インフォメーションセンター窓口等業務を、民間事業者に委託しました。 ・令和8年度の伊勢崎駅自由通路を活用した ISES AKI TINY SHOP 実施に向け、事業計画の検討を行いました。 	
<p>重点取組(2)</p> <p>伊勢崎駅前インフォメーションセンターをまちづくりの拠点として活用する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的スペースをコミュニティスペースとして開放し、学生や会社員等、多くの方にご利用いただきました。 ・まちなか未来学校全12回をインフォメーションセンターで開催し、まちなかの賑わい創出に向けた取組の拠点として活用しました。 ・まちなかに関するイベントの打合せスペースや、民間主催のイベント会場としても活用いただきました。 	
<p>重点取組(3)</p> <p>まちなかで学生が日常的に活躍できる機会を創出する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなかユーススペースには多くの学生が集まるようになり、また、学生主体のイベントも多く実施されるなど、若者が活躍できる場所として定着しつつあります。 ・いせさき楽市では、共愛学園国際大学の学生がランタン作り×まちあるきイベントを開催したり、伊勢崎商業高校の生徒が出店するなど、学生が活躍できる機会を提供しています。 	

8. いせさきまちなか宣言

まちなかの活用における約束事であり、まちなかに関わる全ての人に共有してもらいたい将来像として、令和4年度に市民アンケート等に基づき「まちなか宣言」を策定しました。イラストは市内在住イラストレーターうくい氏によります。発表後は巡回展示を行い、令和5年度はバッジやパンフレットでの周知を行いました。



まちなかを全力で楽しむイベントを、みんなで楽しみながらつくりまします。



まちなかの空き家や空き地を、工夫とアイデアで生まれ変わらせます。



いつでも誰でも、安心して安全に歩けるまちなかを、みんなでつくりまします。



まちなかの緑をみんなで育てて、交流の場として大切に活用します。



歩きや自転車の移動が楽しい、人が中心のまちなかを一緒につくりまします。



歴史的な建物やお祭りなどに積極的に触れて、まちの伝統や文化を守ります。



アートや音楽を伝えたい人と楽しむ人が融合する、素敵な空間にします。



新たな挑戦に取り組む若者たちを応援し、参加しやすいまちなかにします。

9. 令和8年度における課題の整理

令和7年度の事業を元に、次年度に向けた様々な意見を踏まえつつ、令和8年度における課題を整理します。また、各課題に対応するまちなか活性化支援会議の取組（関連の取組を含む）と併せて、次のとおり掲げます。

令和7年度に掲げた課題	令和8年度に掲げる課題と対応する取組
(1) まちなかの未来像が明らかでない	<p>(1) まちなかの未来像が明らかでない</p> <p>まちなかではにぎわい創出拠点の整備が進み、伊勢崎駅周辺地区の将来のまちづくりについて、都市計画課によるビジョンの作成も進んでいます。また、官民連携での活性化事業も本格化しています。この様な状況で、まちなかにどんな未来を描くのか、誰がどんな役割を担うのか、関係者が広く共有する必要があります。</p> <p>取組① いせさきまちなか宣言 取組② 都市再生推進法人制度等、まちづくり制度の調査研究 (関連) 伊勢崎駅周辺地区まちづくり構想(案)</p>
(2) 賑わいの担い手を更に生み出すことが必要	<p>(2) 賑わいの担い手を生み出し続ける仕組みが必要</p> <p>いせさき楽市の定例開催や中心商店街にぎわい再生事業費補助金等により、新たな活動の担い手は確実に生まれています。このにぎわいを日常化するために、まちなかでの新たな挑戦を支援し、賑わいの担い手として育てる施策が必要です。</p> <p>取組③ まちなか未来学校 取組④ いせさき楽市 取組⑤ まちなかにぎわい創出事業 取組⑥ 中心商店街にぎわい再生事業費補助金【市】 取組⑦ まちなかイノベーター(地域おこし協力隊) 取組⑧ ISESAKI TINY SHOP 取組⑨ 支援会議による創業支援 NEW</p>
(3) まちなかでの創業に高いハードルがある	<p>(3) まちなかでの創業に高いハードルがある</p> <p>まちなかでの創業を促進するためには、創業に向けたノウハウの支援、小さく始める場の支援、創業へ金銭的な支援、創業に適した物件確保の支援が必要です。支援会議による支援体制を整えます。</p> <p>取組⑩ 特定創業支援事業【市】 取組⑪ 創業促進サポート補助金(まちなか加算)【市】 取組⑫ 駅前インフォメーションセンター管理運営事業 取組⑬ まちなか不動産活用の調査研究 (再掲) 支援会議による創業支援 NEW (再掲) いせさき楽市、まちなか未来学校 (再掲) ISESAKI TINY SHOP</p>
(4) まちなかの公共空間が十分に活用されていない	<p>(4) まちなかの公共空間が十分に活用されていない</p> <p>まちなかに持続可能なにぎわいを創出する「まちの機能再編」のため、また、民有地・民間の低未利用施設に対する投資の呼び水的な役割として、公民連携による公共空間の利活用を推進することは、大変重要な役割を果たすと言えます。</p> <p>(再掲) いせさき楽市、まちなか未来学校 (再掲) 駅前インフォメーションセンター管理運営事業 (再掲) ISESAKI TINY SHOP (再掲) 都市再生推進法人制度等、まちづくり制度の調査研究</p>

(5) 地域住民や地元商店街との連携が十分ではない	(5) まちなかへ関係人口を迎え入れるための体制が十分ではない 地域で生活する方や学生、実際に活動する様々な関係者との連携や自主的な活動の支援体制が重要です。
	<p>取組⑬ 小規模事業者サポート補助金【市】</p> <p>(再掲) 中心商店街にぎわい再生事業費補助金[再掲]</p> <p>(再掲) まちなか未来学校</p> <p>(関連) 商工会議所/商店会連合会事業【連携協力】</p> <p>(再掲) まちなかイノベーター（地域おこし協力隊）</p>

10. 令和8年度重点取組事項

(1) まちなかの公共空間の可能性を広げる

いせさき楽市やまちなか未来学校など支援会議が主催する各種イベントの機会を最大限に活用しながら、駅構内自由通路や南口駅前広場、シンボルロード等の駅周辺の公共空間を中心に、積極的な利活用の事例を社会実験として積み重ねていきます。また、イベントのみならず、常設的な駅周辺の賑わい創出に向けて、検討を進めていきます。

(2) にぎわいの担い手の育成強化

まちなかの賑わいを創出するためには、まちなかで活動するプレイヤーを増やすことが重要です。ISESAKI TINY SHOP を再開することで挑戦できる場を設け、支援会議による創業支援体制を構築し、伴走支援を実施するなど、にぎわいの担い手の育成に取り組みます。また、まちなかにぎわい再生事業費補助金を拡充することで、より多くのにぎわいの担い手を呼び込みます。

(3) 駅周辺公共空間の管理運営体制の調査研究

伊勢崎駅周辺の公共空間を柔軟に活用し、継続的な賑わいを創出するためには、行政主体による管理運営体制のみならず、民間のノウハウや機動力を生かした管理運営体制も視野に入れる必要があります。持続的な公共空間の管理運営体制の構築に向け、先進自治体による取組事例の研究などを行います。

11. R8年度 年間イベントスケジュール案 ※日程は変更する場合があります

月	会議関係	いせさき楽市	未来学校等	TINY SHOP	関連イベント
4月	4/1 委員選出依頼	4/18 楽市	未来学校①	下旬 募集開始	1日 補助金募集開始
5月	中旬 会議①	5/16 楽市	未来学校②	随時募集	
6月		6/20 楽市			
7月	中旬 会議②	7/18~夜市	未来学校③		夜市開催を検討
8月	下旬 会議③	~8/29 夜市			↓
9月		9/19 夜市	未来学校④		上旬 協力隊募集開始
10月	下旬 会議④		未来学校⑤		
11月		11/21 楽市	未来学校⑥		下旬 イルミネーション
12月		12/19 楽市(イルミコラボ)			↓
1月	中旬 会議⑤		未来学校⑦		
2月					
3月	下旬 会議⑥	3/20 楽市	未来学校⑧	↓	下旬 協力隊就任式

12. 伊勢崎市まちなか活性化支援会議 要項

(令和8年3月 現在)

- (設置) 伊勢崎市
- (名称) 伊勢崎市まちなか活性化支援会議
- (目的) 経済活力の向上を通じたまちなかの活性化
- (定義) まちなか…伊勢崎市中心市街地活性化基本計画で定める中心市街地活性化基本計画区域
- (活動) 本会は次の各号に掲げる活動に取り組む
- (1) まちなかにおける創業促進施策に関すること
 - (2) まちなかにおける経済状況等の把握に関すること
 - (3) その他、まちなかの経済活力の向上に有効な施策に関すること
- (委員) 本会は次の各号に掲げる者から推薦された者をもって構成する
- (1) 伊勢崎市
 - (2) 伊勢崎市北地区区長会 (まちなかの住民を代表する団体)
 - (3) 伊勢崎市南地区区長会 (同上)
 - (4) 伊勢崎商工会議所 (創業支援及び商工振興に関わる経済団体)
 - (5) 群馬伊勢崎商工会 (同上)
 - (6) アイオー信用金庫 (市内に本拠を置く金融機関)
 - (7) 群馬県宅地建物取引業協会伊勢崎支部 (空地・空店舗の活用に関わる団体)
 - (8) 全日本不動産協会群馬県本部 (同上)
 - (9) 合同会社 ISESAKI LOVERS (市街地活性化に取り組む市民団体)
 - (10) その他、構成員が特に必要があると認める者
- (会議) 本会は委員の過半数が必要と認めた場合に、会議を開催する
- 2 委員は、事故その他のやむを得ない理由により会議に出席できないときは、代理人を出席させることができる
 - 3 委員の過半数が必要と認めた場合に、オブザーバーとして、会議に委員以外の者の出席を求めることができる
 - 4 委員の過半数が必要と認めた場合に、委員及びオブザーバーに専門性を確保したメンバーや見識あるアドバイザーを加え、専門部会を当該年度の3月31日までを有効期間として設置することができる。ただし、会議において委員の過半数が必要と認めた場合に、その有効期間は1年延長されるものとする
- (事務局) 本会の事務を処理するため、事務局を置く
事務局の運営に必要な事項は、伊勢崎市産業経済部商工労働課が処理する
- (補足) この要項に定めるもののほか、本会の運営等に関して必要な事項は、別に定める

13. まちなか活性化支援会議 名簿

(令和8年3月現在、敬称略)

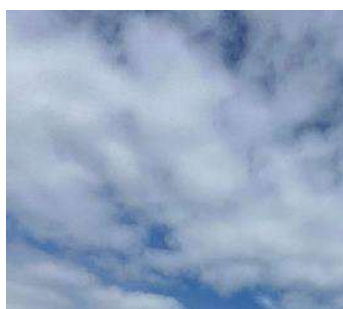
委 員	行政区	北地区区長会	大手町三区	区長	和佐田憲央
	行政区	南地区区長会	中央町一区	区長	池田 育兄
	商工関係	伊勢崎商工会議所	中小企業相談所	所長	年代 智宏
	商工関係	群馬伊勢崎商工会		事務局長	栗田 浩
	金融関係	アイオー信用金庫	営業推進部	部長	石原 圭一
	不動産関係	群馬県宅地建物取引業協会伊勢崎支部		厚生・広報委員長	角内 久世
	市民団体	合同会社 ISESAKI LOVERS		代表	秋山 麻紀
オブザーバー	伊勢崎市	産業経済部	商工労働課	課長	石原 真二
	不動産関係	群馬県宅地建物取引業協会伊勢崎支部		支部長	阿久津順一
	不動産関係	株式会社エムズ・コンサル		代表	大和久雅史
事 務 局	群馬県	地域創生部	地域創生課	地域支援員	富澤 裕介
	伊勢崎市	産業経済部商工労働課	まちなか活性化係		

14. まちなか活性化支援会議のこれまでの取組み

令和3年度	8月26日	第1回開催（本会議の目的、中心市街地の現状ほか）
	9月22日	第2回開催（会議要項、市の制度説明、意見交換ほか）
	11月18日	第3回開催（協定締結について）
	12月10日	協定締結 最終検討会議（事務局長レベル）
	12月23日	協定締結
	1月13日	第4回開催（安中市地域おこし協力隊ほか）
	2月21日	第5回開催（空き店舗調査報告、空き店舗状況ほか）
	3月24日	第6回開催（茨城県北地域おこし協力隊、年間計画ほか）
令和4年度	5月13日	第1回開催（ワークショップ、まちなか宣言、専門部会設置ほか）
	6月30日	第2回開催（ワークショップ、地域おこし協力隊、シンポジウムほか）
	7月16日	まちなかワークショップ（8月6日、20日）
	8月1日	まちなか市民アンケート（～11月20日）
	8月30日	第3回開催（ワークショップ、地域おこし協力隊、市民アンケート、まちなか宣言）
	9月17日	まちなかシンポジウム
	9月29日	第4回開催（シンポジウム、トークライブ、創業支援事業、地域おこし協力隊）
	10月3日	まちなか活性化トークライブ
	10月27日	第5回開催（地域おこし協力隊、まちなか宣言、空き店舗調査、R5年度活動方針）
	11月18日	Instagram 情報発信セミナー
	11月29日	第6回開催（まちなか公共施設、市民団体事例発表、まちなか宣言ほか）
	1月4日	まちなか宣言巡回展示（～3月10日）
	1月10日	第7回開催（まちなかイノベーター一次選考）
	2月24日	第8回開催（地域おこし協力隊、空き店舗調査、まちなか事業者意見交換）
	3月24日	第9回開催（年間計画、地域おこし協力隊）
令和5年度	5月24日	第1回開催（要項改正、にぎわい補助金、ワークショップ、イノベーター報告）
	6月29日	第2回開催（部会設立、にぎわい補助金、イノベーター報告）
	7月4日	第1回専門部会
	7月15日	まちなかシンポジウム／日本建築学会関東支部第24回提案競技現地説明
	8月21日	第2回専門部会
	8月28日	第3回開催（にぎわい補助金、ワークショップ、トークライブ、イノベーター報告）
	10月23日	第4回開催（未来学校、にぎわい補助金、R5計画進捗、ベイシア閉店）
	11月14日	まちなか活性化トークライブ
	11月28日	第3回専門部会
	12月10日	日本建築学会関東支部第24回提案競技公開審査
	12月14日	日本建築学会関東支部第24回提案競技パネル展示①（～12月28日）
	12月17日	第1回まちなか未来学校（山崎亮氏）
	12月22日	第5回開催（未来学校、視察研修、建築学会提案競技、イノベーター報告）
	1月23日	第2回まちなか未来学校（矢口真紀氏）
	2月9日	第6回開催（前橋市視察研修）
	2月22日	特別回まちなか未来学校（若旅宏和氏）
	3月8日	第3回まちなか未来学校（堤洋樹氏ほか）

	3月26日	日本建築学会関東支部第24回提案競技パネル展示②（～4月14日） 第7回開催（年間計画、専門部会提言、イノベーター報告）
	3月29日	専門部会提言書提出
令和6年度	4月20日	第1回まちなか未来学校（商工労働課まちなか活性化係）
	5月18日	第2回まちなか未来学校（土井一樹氏）
	5月28日	第1回開催
	6月15日	第3回まちなか未来学校（奈良のりえ氏）
	6月18日	第1回専門部会
	6月27日	第2回開催
	7月20日	第4回まちなか未来学校（いせさきまちなかシンポジウム） ／伊勢崎駅自由通路社会実験（ISESAKI TINY SHOP）（～8月31日）
	8月17日	第5回まちなか未来学校（北島勲氏）
	8月21日	学生と地域との連携によるシャレットワークショップ（～8月25日）
	8月26日	第2回専門部会
	8月29日	第3回開催
	9月21日	第6回まちなか未来学校（間々田久渚氏）
	10月11日	第7回まちなか未来学校（手島彰氏）
	10月19日	シンボルロード社会実験（次世代E'リティ）
	10月21日	第3回専門部会
	11月6日	第4回開催
	11月16日	第8回まちなか未来学校（宮本亨氏ほか）／シンボルロード社会実験（次世代E'リティ）
	12月21日	第9回まちなか未来学校（鈴木美央氏ほか）
	12月23日	第4回専門部会
	1月23日	第5回開催
	1月30日	第10回まちなか未来学校（西村真理氏ほか）
	2月22日	第11回まちなか未来学校（いせさきまちなか未来学校×まちおしアワード）
	3月1日	特別回まちなか未来学校（伊勢崎グルメ市／古本マルシェ）
	3月15日	第12回まちなか未来学校（塩崎啓示氏ほか）
	3月16日	第13回まちなか未来学校（堤洋樹氏ほか）
	3月25日	第6回開催
	4月16日	専門部会提言書提出
令和7年度	4月19日	第1回まちなか未来学校
	5月14日	第1回開催
	5月17日	第2回まちなか未来学校
	6月21日	第3回まちなか未来学校
	7月15日	第2回開催
	7月24日	第4回まちなか未来学校
	8月26日	第3回開催
	8月26日	第5回まちなか未来学校
	9月9日	第6回まちなか未来学校
	10月21日	第7回まちなか未来学校

-
- 11月 7日 第4回開催
 - 11月26日 第8回まちなか未来学校
 - 12月 9日 第9回まちなか未来学校
 - 12月10日 第10回まちなか未来学校
 - 1月16日 第5回開催
 - 2月13日 第11回まちなか未来学校
 - 3月24日 第6回開催
 - 3月24日 第12回まちなか未来学校



伊勢崎市まちなか活性化支援会議

令和8年度事業計画書（案）

（令和8年3月24日 作成）